

基本情報

時間割コード/Course Code	101945
開講区分(開講学期)/Semester	春～夏学期
曜日・時間/Day and Period	月4
開講科目名/Course Name (Japanese)	日本語教育学講義IIIa
教室/Room	E 1 0 6
開講科目名(英)/Course Name	Lecture on Japanese Language Education IIIa
定員/Capacity	0
ナンバリング/Course Numbering Code	10F0ST3BR01
単位数/Credits	2.0
年次/Student Year	2,3,4年
担当教員/Instructor	真嶋 潤子

授業担当教員一覧

詳細情報

講義題目/Course Name	日本語教育のための第二言語習得論とCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）
開講言語/Language of the Course	日本語
授業形態/Type of Class	講義科目
授業の目的と概要/Course Objective	将来、言語教育特に日本語教育の分野で活躍するために、第二言語習得論の専門的基礎知識を学ぶ。また日本語教育の分野で卒論を書くことを念頭に置いている受講生に、研究方法の知識を身につける手助けをする。
学習目標/Learning Goals	日本語教育における第二言語習得研究の基礎知識を学び、それを踏まえてCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の意義と内容、日本語教育への応用を批判的に考える。
履修条件・受講条件/Requirement / Prerequisite	「日本語教育学入門a, b」「日本語・日本文化を考えるD」「日本語教育学概論」のいずれかを履修済みであること。そうでない場合は応相談。（同時履修も可能。）
授業計画/Class Plan	第1回 オリエンテーション（コロナ対応についてなど） 第2回 CEFRとは、日本語教育全体からみたCEFRの位置と意味 第3回 教科書 第一部 第1章「CEFRの基本的な考え方」 第4回 教科書 第2章「CEFRが生まれた背景」 第5回 教科書 第3章「CEFRが目指す言語教育」 第6回 教科書 第4章「CEFRが考える言語能力」 CEFRのレベル別口頭能力事例ビデオ 第7回 教科書 第5章「CEFRから言語実践へ」 第8～11回 教科書 第二部 実践編 実践例の考察 第12～14回 日本語（あるいは他の外国語）のCEFR利用の具体例 ＊受講生が調べた事例の紹介（グループワーク含む） 第15回 総括
授業外における学習/Independent Study Outside of Class	・事前に授業で扱う本の章を読んでくること。 その内容に関する日本語や英語、自分の専攻語の例を考えたり調べたりしてることが期待される。
教科書・教材/Textbooks	奥村三菜子他著（2016）『日本語教師のためのCEFR』くろしお出版
参考文献/Reference	キース・モロウ、和田稔訳（2013）『ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）から学ぶ英語教育』研究社 泉水浩隆編（2018）「ことばを教える・ことばを学ぶ―複言語・複文化・ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」 (南山大学地域研究センター共同研究シリーズ10) 行路社 大関浩美著(2010)『日本語を教えるための第二言語習得入門』くろしお出版 迫田久美子(2002)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク 迫田久美子(2020)『改訂版 日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク 小柳かおる(2004)『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク 新多了他(2016)『はじめての第二言語習得論講義―英語学習への複眼的アプローチ』大修館書店 パッツィ・M. ライトバウン、ニーナ・スバダ(著)、白井恭弘他(訳)(2014)『言語はどのように学ばれるか―外国語学習・教育に生かす第二言語習得論』岩波書店 [Lightbown, P. M., N. Spada (2013) How Languages are Learned (Oxford Handbooks for Language Teachers), Oxford University Press.] その他は授業で紹介する。
成績評価/Grading Policy	出席＋授業貢献度（発言数） 40％ 学期末の課題発表 30％ 期末レポート 30％ （発表とレポートについての評価項目、基準は授業中に配布する。）
コメント/Other Remarks	コロナ対応として、オンラインでzoom授業を計画しています。履修するかどうかを迷っている人も、まず阪大CLEの、この授業のところに説明用ファイルをアップしておくので、見てください。（履修登録をしないとCLEに入れないそうなので。後で履修取り消しも、期間内なら可能。）
特記事項/Special Note	コロナ対策としてzoom授業を計画していますが、事情があって参加できない場合は、個別に連絡してください。<jmajima@lang.osaka-u.ac.jp> もし何かのIT関連のトラブルで参加できないような場合は、その日該当する教科書の1章分のまとめと自分の考察を書いた小レポートの提出等で、柔軟に対応します。
実務経験のある教員による授業科目/*	

授業担当教員

教員氏名/Instructor Name	所属・職名・講座名/Affiliation, Title, Course	e-mail/E-mail
データがありません		

学生への注意書き

--